

長門市

地震防災マップ⑥

地震防災マップ

揺れやすさマップ

このマップは、長門市に大きな影響を及ぼす可能性のある地震として「1. 浜木断層による地震」、「2. 東南海・南海地震」、「3. 全国どこでも起こりうる直下の地震」の3つを想定し、それらの地震で予想される震度を示したものです。

このマップを使って、確認してみましょう。

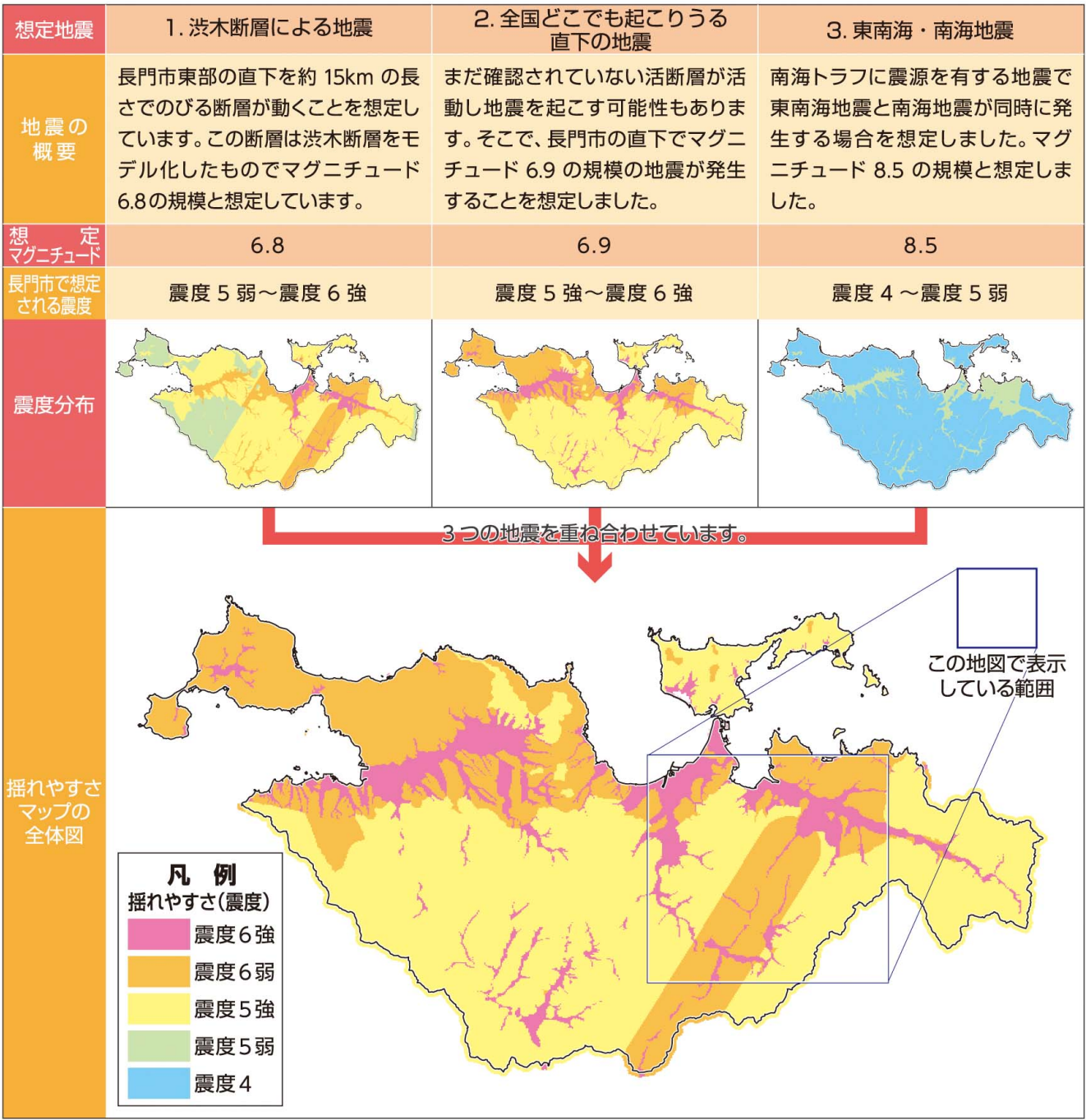
- 自分の家が建っている場所はどれくらい揺れるのか。
- よく行くところ、よく通るところはどれくらい揺れるのか。

揺れやすさマップの作成方法

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で震度（揺れの大きさ）を予測しています。

整 理 長門市域に影響の大きいと考えられる地震を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。

計 算 それぞれの地震について、規模や震源となる断層までの距離と揺れの強さの関係があることを用いて、「地表面付近の揺れの大きさ」を計算します。



地震防災マップ

建物危険度マップ

このマップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布をあらわしています。

揺れやすさマップで示した強さ（震度）の揺れとなった場合に、その地区単位ごとで建物に生じる被害がどの程度かの評価をあらわしたものです。

このマップを使って、確認してみましょう。

- 自分の家や近所の危険度（全壊率）はどのくらいか。
- 通っている職場や学校などの危険度（全壊率）はどのくらいか。

地域危険度マップの作成方法

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で建物被害の程度（建物全壊率）を予測しています。

整 理 長門市域の建物の分布状況を整理します。建物が全壊する可能性は建築年代や構造によって異なるため、建物分布は建築年と構造を区別して把握します。

計 算 過去の地震被害記録から求められた震度と全壊率の関係から、各地域での全壊率を計算します。

※このマップに示す建物全壊率は、地域として建物被害の危険性を示したものであり、個別の建物の危険性を示すものではありません。

